

みずほCustomer Desk Report 2022/01/24号(As of 2022/01/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.85
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	114.12	1.1456	130.70	1.3710	0.7280
SYD-NY High	114.22	1.1483	130.80	1.3736	0.7292
SYD-NY Low	113.60	1.1323	128.88	1.3546	0.7172
NY 5:00 PM	113.69	1.1342	128.98	1.3551	0.7172
NY DOW	34,265.37	▲ 450.02	日本2年債	-0.0700	0.00bp
NASDAQ	13,768.92	▲ 385.10	日本10年債	0.1300	▲1.00bp
S&P	4,397.94	▲ 84.79	米国2年債	1.0148	▲1.01bp
日経平均	27,522.26	▲ 250.67	米国5年債	1.5713	▲1.86bp
TOPIX	1,927.18	▲ 11.35	米国10年債	1.7696	▲4.06bp
シカゴ日経先物	27,245.00	▲ 280.00	独10年債	-0.0625	▲3.30bp
ロンドンFT	7,494.13	▲ 90.88	英10年債	1.1670	▲5.75bp
DAX	15,603.88	▲ 308.45	豪10年債	1.8930	▲9.50bp
ハンセン指数	24,965.55	13.20	USDJPY 1M Vol	6.25	0.20%
上海総合	3,522.57	▲ 32.49	USDJPY 3M Vol	6.41	0.09%
NY金	1,831.80	▲ 10.80	USDJPY 6M Vol	6.60	0.09%
WTI	85.14	▲ 0.41	USDJPY 1M 25RR	-0.90	Yen Call Over
CRB指数	248.479	▲ 1.53	EURJPY 3M Vol	7.01	0.20%
ドルインデックス	95.64	▲ 0.09	EURJPY 6M Vol	7.30	0.14%

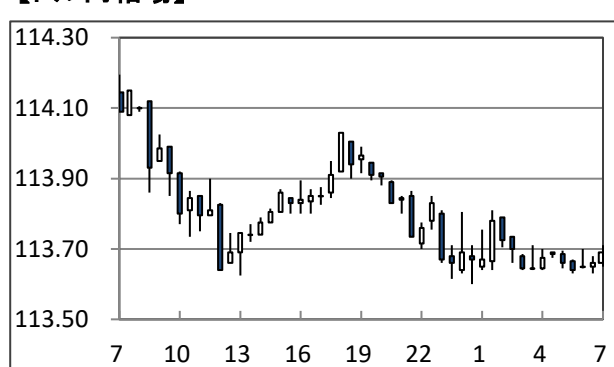
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月21日	08:30	日 全国CPI	12月 0.8%	0.9%
	08:30	日 全国コアCPI	12月 0.5%	0.6%
	09:01	英 GfK消費者信頼感	1月 -19	-15
	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	12月 -3.6%/-3%/0.7%	-0.8%/1.1%/1.2%
1月22日	00:00	欧 消費者信頼感	1月 -8.5	-9

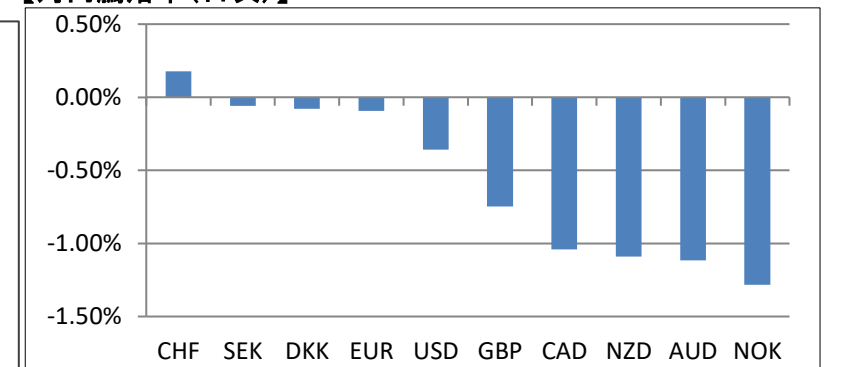
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月24日	18:30	英 マークイットサービス業PMI・速報	1月 54	53.6
	18:30	英 マークイットコンポジットPMI・速報	1月 54	53.6
	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	12月 -	0.37
	23:45	米 マークイット製造業PMI・速報	1月 56.7	57.7
	23:45	米 マークイットサービス業PMI・速報	1月 54.8	57.6
	23:45	米 マークイットコンポジットPMI・速報	1月 -	57

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.20-114.20	1.130-1.138	128.50-130.00

【マーケット・インプレッション】

金曜日のドル円は下落。株安の流れから債券が買われ、米債利回りの低下も相まって、ドル円は113円台半ばまで下落し、そのまま安値圏で超週した。

本日のドル円は113円台後半でのレンジ推移を予想する。1/25-26の日程でFOMCを控えて様子見姿勢となろう。一方で、米株は6営業日連続で値を下げており、引き続き株価の下落や地政学リスクなどによるドル円の下落リスクを警戒したい。

東京	東京時間のドル円は114.12レベルでオープン。日本株が大幅安となる展開に、ドル円は軟調地合いが継続。序盤から114円台を割り込むと正午付近には113.64をつけた。午後に入り、日本株のマイナス幅縮小を横目に若干値を戻し、113.72レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は113.72レベルでオープンし、米長期金利に沿った値動きを眺めて動意に乏しい値動き。約30銭のレンジで推移し、113.78レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場ではリスクオフの動きが強まり113.63まで下落したドル円は、113.78レベルでNYオープン。朝方は株安を受けた円買いが強まる中、米金利低下を受けたドル売りも優勢となり、10時に発表の米12月先行指数も予想と一致する一方、前回分が下方修正され、113.60まで下落する。その後は軟調に推移していた株式市場が一旦下げ渋る展開に113.81まで戻すものの、米動画配信サービス会社の第一四半期の会員数見通しが市場予想を下回る等、成長鈍化懸念から株式市場が軟調に推移する動きに、ドル円は上値の重い展開が続き、113.69レベルでクロスした。尚、朝方黒田日銀総裁の「日銀は極めて緩やかな政策続ける必要がある」との発言が伝わったが、市場の反応はほとんど見られなかった。一方、海外市場でドル売りが優勢となったことからユーロドルはじり高で推移し、1.1338レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、1.1359まで戻すものの、株安を受けたユーロ円の売りに上値は重く、また朝方のラガルドECB総裁の「欧州と米国は同じスピードで動いていない」との慎重な発言もあり、1.1340付近での推移が続き1.1342レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小林・小野崎